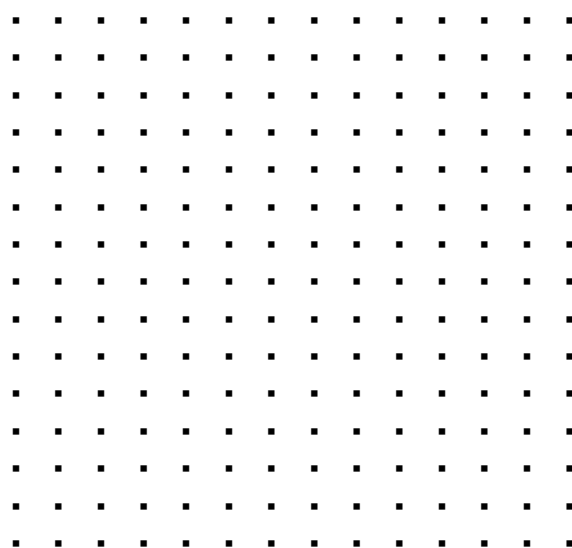


令和 5(2023)年度

中原悌二郎記念
旭川市彫刻美術館
年報



目次

展示事業	2
I 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館	2
1 常設展	2
2 企画展「触覚空間を描くー彫刻家のデッサンー」	3
3 企画展「椎名澄子彫刻展「風にふれて」」	5
4 企画展「みて、ふれて、彫刻巡回展示のなかまたち」	7
II 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー（分館）	10
1 企画展「彫刻家による版画の世界」	10
2 企画展「齋藤健昭彫刻展 風のかたち・日の像」	11
3 企画展「北海道の建築 巡回展 2023」	12
4 企画展「小浜亀角のアイヌ画」展	12
5 企画展「リラックスチェア 椅子がもたらす寛ぎの時間 - 織田コレクションから -」	13
6 企画展「まなざしのゆくえ -その先にある“何か”-」	13
7 企画展「アアルトとフィンランドデザイン - 織田コレクションから -」	14
8 企画展「第 19 回パレットのなかま展」	15
教育普及活動	15
彫刻巡回展示事業	16
中原悌二郎賞関係事業	17
旭川彫刻フェスタ	18
野外彫刻維持管理事業	19
その他の事業	19
印刷物の発行	19
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会	20
管理作品	20
ボランティアの会「みゆうず」	22
観覧者数	22

展示事業

Ⅰ 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

旭川市彫刻美術館は、日本の近代彫刻史に優れた業績を残した旭川ゆかりの彫刻家「中原悌二郎」を記念した彫刻専門の美術館として 1994（平成 6）年に開設された。

悌二郎が残した全 12 点の彫刻を中心に、悌二郎に大きな影響を与えたロダン、萩原守衛の作品や旭川ゆかりの彫刻家の作品、旭川市が 1970（昭和 45）年に悌二郎の優れた業績を世間に広く知らせるとともに、日本の彫刻界の発展に貢献する目的でつくられた「中原悌二郎賞」の受賞作品等を所蔵している。

彫刻美術館本館では、常設展示のほか、1 階企画展示室において収蔵作品による企画展や道内の作家による企画展を行った。

1 常設展

■会期 令和 5 年 4 月 1 日（土）～令和 6 年 3 月 31 日（日）

■開催日数 318 日間

■展示作品数 彫刻 55 点（期間中一部展示替えあり）

■観覧者数 3,987 名（一般 2,680 人／高校生 35 人／中学生以下 476 人／70 才以上市民 117 人／免除 679 人）

	作者名	作品名	制作年	材質	寸法(高×幅×奥行cm)	備考
1	西野 康達	Sky Memory 'sprit'	2015(平成27)	チタン合金, チタン, ステンレス	13×810×96	1階ロビー 第42回中原悌二郎賞 代替作品
2	中原 悌二郎	女の顔	1910(明治43)	ブロンズ	26×19.5×14	
3	中原 悌二郎	老人	1910(明治43)	ブロンズ	57×35.5×35.5	
4	中原 悌二郎	エチュード	1914(大正3)	ブロンズ	12×15×10.5	
5	中原 悌二郎	保田龍門像	1915(大正4)	ブロンズ	38.5×24×27	
6	中原 悌二郎	三宅辨次郎像	1916(大正5)	ブロンズ	34.5×19×23.5	
7	中原 悌二郎	坪井経蔵像	1916(大正5)	ブロンズ	37.5×18×22.5	
8	中原 悌二郎	石井龍三像	1916(大正5)	ブロンズ	39.5×23×21	
9	中原 悌二郎	墓守老人像	1916(大正5)	ブロンズ	60×36×43	
10	中原 悌二郎	乞食老人像	1918(大正7)	ブロンズ	51.5×31.5×32	
11	中原 悌二郎	慰える女	1919(大正8)	ブロンズ	31×35.5×15	
12	中原 悌二郎	若きカフカス人	1919(大正8)	ブロンズ	42×18.5×18.5	
13	中原 悌二郎	平柳田中像	1919(大正8)	ブロンズ	38×26×22	
14	オーギュスト・ロダン	ジャン・デールの裸体習作	1886～89頃	ブロンズ	103×30×25	
15	荻原 守衛	坑夫	1907(明治40)	ブロンズ	47×46.5×33.5	
16	一色 邦彦	ひびき	1972(昭和47)	ブロンズ	30×40×30	第4回中原悌二郎賞優秀賞
17	城田 孝一郎	着衣像	1974(昭和49)	ブロンズ	103×59.5×24	第15回中原悌二郎賞優秀賞代替作品
18	掛井 五郎	ハンザイ・ヒル	1976(昭和51)	ブロンズ	130×58×23	第7回中原悌二郎賞優秀賞
19	吉田 芳夫	白道	1976(昭和51)	ブロンズ	71×31×33	第7回中原悌二郎賞
20	加藤 昭男	天を支える	1981(昭和56)	ブロンズ	169×92×95	
21	桜井 祐一	レダ	1976(昭和51)	ブロンズ	110×60×115	第10回中原悌二郎賞
22	祐岡 道雄	九頭竜ダム	1976(昭和51)	ポリエステル, 木	67.5×150×59	第8回中原悌二郎賞優秀賞
23	細川 宗英	道元	1972(昭和47)	ブロンズ, 義眼	169×50×53	第3回中原悌二郎賞優秀賞
24	池田 宗弘	一番近くの巨人に突っこんだ	1983～87(昭和58～62)	真鍮	225×80×30	第17回中原悌二郎賞優秀賞
25	鈴木 実	妻の肖像	1979(昭和54)	ラワン	120×48×53	第16回中原悌二郎賞代替作品
26	深井 隆	逃れゆく思念	1989(平成元)	樟, 金箔	90×72×57	第19回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
27	木内 克	婦人誕生	1970(昭和45)	ブロンズ	183×50×40	第1回中原悌二郎賞
28	橋本 裕臣	丘の上のかたち	1991(平成3)	テラコッタ	140×90×140	第22回中原悌二郎賞優秀賞
29	保井 智貴	untitled	2004(平成16)	漆, 麻布, 蠟燭, 岩絵具, 膠, スペクトロライト, 大理石	160×44×28	第34回中原悌二郎賞優秀賞
30	柳原 義達	道標・鳩	1974(昭和49)	ブロンズ	41×50×28	第5回中原悌二郎賞
31	佐藤 忠良	カンカン帽	1975(昭和50)	ブロンズ	60×51.5×40	第6回中原悌二郎賞
32	山本 正道	風と少女	2000(平成12)	大理石	88×70×60	第31回中原悌二郎賞 代替作品
33	寒川 典美	ほかい人	1969(昭和44)	テラコッタ	126×42×31	第11回中原悌二郎賞
34	朝倉 響子	ニケ/NIKE	1981(昭和56)	ブロンズ	138×47.5×69	第13回中原悌二郎賞優秀賞
35	笹戸 千津子	若き立像'86	1986(昭和61)	ブロンズ	171×65×49	第18回中原悌二郎賞優秀賞
36	舟越 保武	原の城	1971(昭和46)	ブロンズ	192×55×57	第3回中原悌二郎賞
37	中谷 ミチコ	Boat	2015(平成27)	硬質石膏	42×110×32	第43回中原悌二郎賞 代替作品
38	土谷 武	植物空間Ⅲ	1989(平成元)	チーク	231×125×125	第21回中原悌二郎賞 代替作品
39	渡川 喜一	そりとそぎのあるかたち	1980(昭和55)	樟, 桜	180×280×50	第11回中原悌二郎賞優秀賞
40	最上 寿之	ヘベレケ	1976(昭和51)	カスケード松	120×90×60	第12回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
41	内田 晴之	重力環—地	2000(平成12)	チタン, ステンレススチール, マグネット, 塗料	226×130×130	第29回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
42	清水 九兵衛	CORRELATION	1999(平成11)	アルミニウム, 陶	110×164×150	第29回中原悌二郎賞 代替作品
43	吾妻 兼治郎	YU—847	1997(平成9)	ブロンズ	128×79×37	第30回中原悌二郎賞
44	古郡 弘	袍衣	2006(平成18)	木, 土, 竹, 綿布, 銅, 鉛, 紙	218×150×175	第34回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
45	下田 治	かみつくめす犬	1997(平成9)	コールドテン銅	230×170×80	第28回中原悌二郎賞
46	保田 春彦	聚落を囲う壁 I	1994-95(平成6-7)	鉄	170×72.9×233.4	第26回中原悌二郎賞
47	広井 力	海の風	2000(平成12)	ステンレススチール	190×110×110	第32回中原悌二郎賞
48	小清水 漸	レリーフ80-4	1980(昭和55)	桂	116×253×6.5	第11回中原悌二郎賞優秀賞
49	鈴木 久雄	距離群	2002(平成14)	鍛造ステンレス鋼	235×165×140	第35回中原悌二郎賞代替作品
50	植松 奎二	置—浮遊の場	2010(平成22)	銅, 真鍮	50×240×50	第38回中原悌二郎賞 代替作品
51	青木 野枝	原形質2014	2014(平成26)	鉄, ウレタン, 布, 石膏	2ピース	第40回中原悌二郎賞 代替作品
52	小泉 俊己	水脈(図法—1)	2010(平成22)	鉄, 木, ガラス, 銅, 鉛, 植物図鑑, 胡桃	195×133×87.5	第37回中原悌二郎賞
53	湯村 光	起源	1993(平成5)	黒御影石	87×116×25	第24回中原悌二郎賞優秀賞
54	大平 實	Casa(家)	2007(平成19)	割って折った廃材, 機のパレーン	125×180×180	第36回中原悌二郎賞
55	田中 薫	ピタゴラスの鳥	1979(昭和54)	プラスチック, モーター, 歯車	160×100×60	第10回中原悌二郎賞優秀賞

2 企画展「触覚空間を描く－彫刻家のデッサン－」

■会期 令和5年2月11日(土)～令和5年5月28日(日)

会期延長 令和5年5月30日(火)～ 令和5年7月31日(月)

会期再延長 令和5年8月1日(火)～ 令和5年10月15日(日)

■開催日数 221 日間

■展示作品数 33 点

■観覧者数 2,906 名（一般 2,127 人／高校生 29 人／中学生以下 281 人／
70 才以上市民 85 人／免除 384 人）

「彫刻とは、根本的には触覚空間の芸術である。彫刻空間とは、触覚空間であるとも言える。

私たちは対象に手をのばし、対象を手さぐる。陶器、ガラスに私たちはそのもののオブジェ感を知る。茶碗やコップの機能的外観の美しさより、彫刻家にとって、これが第一義的な美の要素たりうる。」

（『柳原義達美術論集 孤独なる彫刻』より）



ポスター

戦後の日本彫刻界を牽引した一人である柳原義達が語るように、彫刻家は自身の触覚を拠り所として作品を作り上げている。そのため、彫刻家の素描は、対象の形態や動勢を把握するために習作的に描いたものも、彫刻作品の構成を練るために描いたものについても、どれも極めて触覚的であり、描かれた対象の表面の質感や奥行き感を強く感じさせるものとなっている。彫刻家の素描のその様な特徴は、三次元の世界を二次元の中に取り込もうとする画家の素描とは感覚的な相違を伴っており、独自の様相を見せる。

「触覚空間」という言葉で彫刻家の感覚を示した柳原義達は、自宅で鳩を飼って素描を繰り返し、瞬間的な仕草やその際の身体の構造の把握に努めながら、鳩をモチーフとした一連の彫刻作品を制作した。その素描は、短いストロークを無数に重ねる手法で描かれており、空気を含んだ羽のふわりとした軽い手触りを思わせるものとなっている。

本展では、彫刻美術館が収蔵する彫刻家の平面作品の中から、コンテや鉛筆などを駆使して描かれた彫刻家の触覚的感覚に秀でた素描作品を紹介した。

展示目録					
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法（高×幅×奥行 cm）
1	柳原 義達	鳩	1989	紙, ペン	31.8×40.6
2	柳原 義達	女性像	2001	紙, クレパス, サインペン	35×25.1
参考	柳原 義達	道標・鳩	1974	ブロンズ	41×50×28
3	清水 良治	横の人	不詳	紙, 鉛筆	32.1×40.7
4	加藤 顕清	コタンのメノコ	不詳	紙, 茶コンテ	29.7×22
5	加藤 顕清	女の顔	不詳	紙, 茶コンテ	35.5×29.8
参考	加藤 顕清	ロシア人の首	1965	ブロンズ	39×25×33
6	佐藤 忠良	俯せる裸婦	1972	紙, チャコール	21.7×33.5
参考	佐藤 忠良	カンカン帽	1975	ブロンズ	60×51.5×40
7	池田 宗弘	街道の木	1994	紙, 鉛筆	54×39
8	山本 正道	境川沿いの林	1990	紙, 鉛筆	24×33
9	山本 正道	樹と少女	1989頃	紙, 鉛筆, 木炭	20.5×28.8
10	岩野 勇三	少女の顔	不詳	紙, 木炭	38×27
11	岩野 勇三	女 I	不詳	紙, コンテ	38×27.2
参考	岩野 勇三	なほ	1983	ブロンズ	128×48×50
12	加藤 昭男	猫とかまきり	2000	紙, パステル, 鉛筆	54×40
13	加藤 昭男	バッタの仲間	2001	紙, パステル, 鉛筆	55×39
参考	加藤 昭男	バッタの仲間	2001	ブロンズ	58×37×30
14	橋本 裕臣	雲に出会って	2003	ワトソン紙, 色墨	79×55
15	橋本 裕臣	雲に乗った	2003	ワトソン紙, 色墨	79×55
16	植松 奎二	浮く石	2013	紙, 鉛筆	57×77
17	植松 奎二	3つのかたちー垂	2004	紙, 鉛筆	77×57.5
18	江口 週	抱擁のコンポジション	1990	紙, 鉛筆, 水彩	76×55
19	江口 週	梁の祭壇	1991	紙, 鉛筆, 水彩	56×76.5
参考	江口 週	漂流と原型'77-M-2	1977	桜	34×80×26
20	桜井 祐一	レダ	1976	紙, 鉛筆	41.5×32
21	桜井 祐一	レダ（背面）	1976	紙, 鉛筆	41.5×32
参考	桜井 祐一	レダ	1976	ブロンズ	110×60×115
22	桜井 祐一	はじらい	1965	紙, コンテ	37.5×26
23	古郡 弘	袍衣	2006	紙, 鉛筆	79×54.5
24	井田 勝己	時を渡る橋	2001	アルシュ紙, 木炭	75×105
25	西 雅秋	innocence-MIZU	1991	紙, 木炭, 墨	58×77
26	西 雅秋	innocence-Hi	1991	紙, 木炭, 墨	77×58

3 企画展「椎名澄子彫刻展「風にふれて」」

- 会期 令和5年10月21日（土）～令和6年2月18日（日）
- 開催日数 99日間
- 展示作品数 32点
- 観覧者数 1,045名（一般605人／高校生9人／中学生以下71人／

70才以上市民 27人／免除 333人)

椎名澄子は、札幌市に生まれ、東京藝術大学美術学部彫刻科、同大学院で彫刻を学び、北海道内を中心に国内外でテラコッタやブロンズによる立体作品を発表してきた。これまで札幌芸術の森美術館中庭をはじめ札幌市・旭川市での個展開催のほか、グループ展にも多数参加しており、現在は今年4月に公立化された旭川市立大学短期大学部教授として学生の指導にあたりながら制作を続けている。

椎名澄子手がける作品では、植物をはじめ、少女の髪、衣服の袖や襟といった人間を取り巻くものが同氏の制作のモチーフである「風」の流れをつくるものとして印象的に使われ、鳥や子どもは時に風に踊り風そのものとして表現されている。

本展では、ブロンズを中心に、椎名澄子が風や植物を題材として、人間を取り巻く空気感、子どもたちが感じさせる生命力、その先に新たな風を予感させる静かな躍動感を表現した作品を紹介した。



チラシ

展示目録				
	作者名	作品名	制作年	材質
1	椎名 澄子	うさぎの風2023	2023	ブロンズ
2	椎名 澄子	風の子2016	2016	ブロンズ
3	椎名 澄子	レース襟の少女	2014	ブロンズ
4	椎名 澄子	ももいろ	2010	ブロンズ
5	椎名 澄子	楓	2007	ブロンズ
6	椎名 澄子	子の実-どんぐり 子の実-枝	2007	テラコッタ
7	椎名 澄子	囀りの木2020	2020	ブロンズ, BOX
8	椎名 澄子	風の子	2014	ブロンズ
9	椎名 澄子	森Ⅰ～Ⅹ	2023	紙, 油性ペン
10	椎名 澄子	風の子2015	2015	ブロンズ
11	椎名 澄子	水の華	2014	ブロンズ
12	椎名 澄子	風の子2017	2017	ブロンズ
13	椎名 澄子	月のひと	2014	ブロンズ
14	椎名 澄子	風に舞う	2013	ブロンズ
15	椎名 澄子	風にふれて	2018	ブロンズ
16	椎名 澄子	風にふかれて	2014	ブロンズ
17	椎名 澄子	小さい春	2012	ブロンズ
18	椎名 澄子	相生	2020	ブロンズ
19	椎名 澄子	穂	2011	ブロンズ
20	椎名 澄子	小鳥のうた	2017	ブロンズ, 雲南石
21	椎名 澄子	月影	2007	ブロンズ
22	椎名 澄子	光風	2007	ブロンズ
23	椎名 澄子	森のひと	2014	ブロンズ

4 企画展「みて、ふれて、彫刻巡回展示のなかまたち」

- 会期 令和6年2月27日(火)～令和6年5月19日(日)
- 開催日数 72日間
- 展示作品数 36点
- 観覧者数 871名(一般525人／高校生10人／中学生以下170人／
70才以上市民32人／免除134人)

市民に彫刻に親しむ機会を提供し、新たに彫刻に関心をもつ市民の増に繋げるため、市内小中学校で実施している「彫刻巡回展示」で展示している彫刻作品及びそれらに関連する平面作品を紹介し、来館者に実際に彫刻に触れて体感して

もらう展覧会を実施した。

広く市民に彫刻作品を鑑賞・体感してもらうことで、彫刻を身近に感じ関心を持ってもらうとともに、過去に自校で彫刻巡回展示を鑑賞・体感した児童生徒には、当時のことを回顧し、関連する平面作品と併せて鑑賞したり、同じ作品でも彫刻美術館という学校とは異なる空間で鑑賞・体感することで新たな魅力を発見する楽しさを感じてもらい、彫刻を愛好する市民の増にも繋げる機会となった。



ポスター

展示目録				
	作者名	作品名	制作年	材質
1	木内 克	鷺	1949	ブロンズ
2	木内 克	猫	1965	ブロンズ
3	木内 克	犬	1925	ブロンズ
4	木内 克	猫	1961	紙, パステル, クレヨン
5	木内 克	カマキリ	1977	紙, リトグラフ
6	木内 克	アマゾース	1968	ブロンズ
7	木内 克	鳩と樹	不明	ブロンズ
8	新田 実	男性裸像	不明	紙, 木炭
9	藤川 叢三	冬	1965	ブロンズ
10	木内 克	うなだれた裸婦	不明	ブロンズ
11	藤川 叢三	坐像 1 1	1967頃	ブロンズ
12	藤川 叢三	立像 2 (コラージュ 7)	1972	紙, パステル
13	藤川 叢三	リトグラフ 1 2	1971	紙, リトグラフ
14	木内 克	裸婦	1950	紙, 鉛筆, 水彩
15	木内 克	裸婦	1951	紙, 鉛筆, 水彩
16	木内 克	母子像	1968	ブロンズ
17	藤川 叢三	立像 5	1966	ブロンズ
18	新田 実	青年立像	1955	ブロンズ
19	山内 壮夫	ソンミの慟哭	1972	ブロンズ
20	山内 壮夫	踊り子	1973	ブロンズ
21	山内 壮夫	婦人立像 (着衣)	1968	ブロンズ
22	山内 壮夫	ソンミの慟哭 II	1972	紙, 墨, 水彩
23	山内 壮夫	母子像	1960代	ブロンズ
24	山内 壮夫	牧神	1954	ブロンズ
25	山内 壮夫	親子像	1955	ブロンズ
26	山内 壮夫	飛遊	1967	紙, 水彩, 墨
27	山内 壮夫	婦人像	1960代	紙, ペン, 水彩
28	山内 壮夫	図案化された牧神像	1950代	紙, リトグラフ
29	山内 壮夫	花の母子像	1971	紙, 水彩
30	加藤 顕清	読書	不明	紙, 鉛筆
31	加藤 顕清	馬	1953	ブロンズ
32	木内 克	人魚	1969	ブロンズ
33	板津 邦夫	星と月と太陽	2005	紙, 木版画
34	板津 邦夫	夜の樹々	2005	紙, 木版画
35	板津 邦夫	星と月と	1972	イチイ
36	山内 壮夫	鶴の舞	1969	ブロンズ

II 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー（分館）

彫刻のまちとして知られる旭川の魅力を来訪者に広く紹介すると共に、彫刻美術館本館への訪問や野外彫刻鑑賞のきっかけとすることを目的として、平成 24 年度にオープンした。

砂澤ビッキ<カムイミントラ>を常設展示するほか、旭川と旭川ゆかりの彫刻家の作品等、彫刻美術館所蔵作品による企画展を年に数回開催している。

1 企画展「彫刻家による版画の世界」

- 会期 令和 5 年 3 月 18 日（土）～令和 5 年 5 月 7 日（月）
- 開催日数 44 日間
- 展示作品数 35 点
- 観覧者数 1,076 名（一般 994 人／高校生以下 82 人／団体 0 人）

優れた彫刻家たちの多くが彫刻制作の傍らでそれぞれの芸術観を投影した版画制作も手がけており、魅力に富んだ版画作品を制作している。本展では本館が蒐集してきた彫刻家による版画作品の中から、版制作の特徴が作品世界に顕著に現れている作品を紹介した。



ポスター

展示目録					
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法（高×幅×奥行 cm）
【凸版画（木版画）】					
1	空 充秋	生きる	1991	木版	63.5×47
2	空 充秋	仁王	1991	木版	63.5×47
3	池田 宗弘	<イエズス・キリストの御苦しみの道> 第13画	1999	紙, 木版画	46.8×31.9
4	池田 宗弘	<イエズス・キリストの御苦しみの道> 第14画	1999	紙, 木版画	46.8×31.9
5	舟越 桂	蒼い湖	1997	木版	34.8×25.2
参考	舟越 桂	そこだけの冬	1997	楠に彩色, 大理石, プリキ	87×37×38
6	板津 邦夫	雪の精	2006	紙, 木版	41×32
7	板津 邦夫	雲と山	2005	紙, 木版	43.7×35
8	板津 邦夫	王と王妃	1981	木版	39.3×29.2
9	板津 邦夫	草と月	2004	紙, 木版	33×23.8
10	板津 邦夫	風神・雷神	1994	木版	52.2×34
参考	板津 邦夫	'93風神・雷神	1993	クルミ（着色）	182.5×60.5×42.5
参考	板津 邦夫	「北の歳時記」より初夏	1990	クルミ（着色）	189×43×40
【平版画（リトグラフ）】					
11	岩野 勇三	ハバロフスクにて	不詳	リトグラフ	54.8×39
12	藤川 叢三	リトグラフ15	1973	紙, リトグラフ	64.8×50
13	高橋 清	親和 (Intimidad-No.23)	1975	紙, リトグラフ	74×54
14	高橋 清	トラロックと人	1971	紙, リトグラフ	65×50
15	木内 克	猫	不詳	リトグラフ	26.4×36.8
16	木内 克	女と猫	1963	リトグラフ	50×39
参考	木内 克	坐裸婦	1960	ブロンズ	55×37×34
【孔版画（シルクスクリーン）】					
17	小田 襄	円と方形 90-5	1990	シルクスクリーン+手彩色9色	32.4×25
18	小田 襄	円と方形 90-8B	1990	シルクスクリーン+手彩色5色	36.5×28.7
19	小田 襄	円と方形 96-2	1996	シルクスクリーン+手彩色	40×30.8
参考	小田 襄	円柱と方形の要素	1979	ステンレススチール	99×26×23
【凹版画（エッチング）】					
20	舟越 桂	教会とカフェのためにⅠ	1987	紙, エッチング	14.7×9.6
21	舟越 桂	教会とカフェのためにⅡ	1987	紙, エッチング	14.7×9.6
22	舟越 桂	静かな鏡のために	1987	紙, エッチング	14.6×9.7
参考	舟越 桂	点の中の距離	2003	楠に彩色, 大理石	91×55×30
23	掛井 五郎	花・花	1993	エッチング	14.8×9.8×6点
24	掛井 五郎	猫の孤独 さびしい	1991	エッチング	36.5×36.5
25	掛井 五郎	猫の孤独 おいしい	1991	エッチング	36.5×36.5
26	向井 良吉	トンボ眼鏡のトランペットとバンジョー	1980	エッチング	6.7×11.2
27	向井 良吉	鶏に化けたタンバリン	1980	エッチング	8.6×8.8
28	青木 野枝	亀池・蓮池1	1997	紙, エッチング, アクアチント, ドライポイント	55×65
29	青木 野枝	亀池・蓮池7	1997	紙, エッチング, ドライポイント	55×65

2 企画展「齋藤健昭彫刻展 風のかたち・日の像」

■会期 令和5年5月13日（土）～令和5年6月11日（日）

■開催日数 26日間

■展示作品数 47点

■観覧者数 1,067 名（一般 956 人／高校生以下 55 人／団体 56 人）

■主催 道展旭川美術会、中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

道展旭川美術会の創設 70 年を記念し、同会と中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館との共催により「齋藤健昭彫刻展」を開催した。

齋藤健昭は北海道教育大学旭川校を卒業後、道内の中学校・高等学校で美術教員として勤務しながら彫刻制作を続けてきた。作品は主に道展（北海道美術協会）や純生展（純生美術会）で発表しており、団体の事務局業務を担うなど中心的存在として今日まで活動している。

制作では木と金属という 2 つの素材を扱っており、ほぼ独学で制作技術を得ている。木を素材とした作品では抽象形態の中で自然の摂理を捉えた彫刻的なかたちのあり方が希求されており、幾つもの部位を継ぐように作られた作品たちは、生命あるものの息吹や芽生えを感じさせるものとなっている。一方、金属を扱った作品では半具象的な表現で人体像を表現しており、人の存在や気配の残像といったもののかたちが追求されている。

本展では、制作初期から近作に至るまでの作品を展示し、齋藤健昭が求め続けてきた彫刻のかたちについて紹介した。



チラシ

3 企画展「北海道の建築 巡回展 2023」

■会期 令和 5 年 6 月 15 日（木）～令和 5 年 7 月 18 日（火）

■開催日数 32 日間

■観覧者数 1,431 名（一般 1,315 人／高校生以下 63 人／団体 53 人）

■主催 公益社団法人 日本建築家協会 北海道支部、公益社団法人 日本建築家協会 北海道支部 旭川地区会
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

■協賛 一般社団法人 北海道建築士会 旭川支部、一般社団法人 北海道建築士事務所協会 旭川支部

■協力 建築模型製作所ブロック・エム、旭川市家具工業協同組合

■後援 NHK 旭川放送局、北海道新聞旭川支社、北のまち新聞社「あさひかわ新聞」、旭川ケーブルテレビ株式会社「ポテト」

2022 年札幌芸術の森美術館にて開催された「北海道の建築展 2022」。その第 1 部企画展示及び旭川地区会会員の仕事の展示を通じて北海道の建築の歴史、地域の建築家の仕事と活動を紹介した。

4 企画展「小浜亀角のアイヌ画」展

■会期 令和 5 年 7 月 21 日（金）～令和 5 年 8 月 15 日（火）

■開催日数 26 日間

■観覧者数 846 名（一般 738 人／高校生以下 108 人／団体 0 人）

本展では、川村カ子トアイヌ記念館の新築開館を記念し、昭和 25 年に旭川で開催された北海道開発大博覧会に小浜が出展した作品の中から 10 点を展示し、アイヌの暮らしを紹介した。

5 企画展「リラックスチェア 椅子がもたらす寛ぎの時間 - 織田コレクションから -」

■会期 令和 5 年 8 月 18 日（金）～令和 5 年 10 月 1 日（日）
■開催日数 41 日間
■観覧者数 1,610 名（一般 1,390 人／高校生以下 143 人／団体 77 人）
■主催 旭川市教育委員会
■主管 旭川家具工業協同組合
■協力 織田憲嗣、織田コレクション協力会、東川町

織田コレクションから、布団やベッドとは違い、あくまで“座る”ということを前提に様々な姿勢でリラックスできる椅子を展示した。

6 企画展「まなざしのゆくえ - その先にある“何か” -」

■会期 令和 5 年 10 月 7 日（土）～令和 6 年 1 月 8 日（月・祝）
■開催日数 76 日間
■展示作品数 18 点
■観覧者数 1,653 名（一般 1,474 人／高校生以下 119 人／団体 60 人）



ポスター

旭川市彫刻美術館が所蔵する彫刻作品をはじめ、人物や動物を描いた平面作品において、視線の表現は何かを訴えかけたり、作家が見つめたであろうモデルの人となりや境遇をも感じさせる力を持っているものがある。

本展では、当館の収蔵作品の中からまなざしに魅力を持った立体作品及び平面作品を紹介し、その視線に立って作品と向き合い、その先に映る「何か」を想像する機会を提供した。

展示目録				
	作者名	作品名	制作年	材質
1	中谷 ミチコ	Boat	2015	硬質石膏
2	中谷 ミチコ	泣く女	2022	紙, 水彩, 色鉛筆
3	中谷 ミチコ	私の中の卵	2022	紙, 水彩, 色鉛筆
4	藤川 叢三	テラコッタのための素描 1	1975	紙, リトグラフ
5	藤川 叢三	素描 1	1965	コラージュ, 木炭
6	藤川 叢三	素描 2	1965	紙, コラージュ, 木炭, コンテ
7	藤川 叢三	リトグラフ 3 2	1980	紙, リトグラフ
8	本郷 新	山内壮夫像	1927	ブロンズ
9	石井 鶴三	中原氏像	1916	ブロンズ
10	山内 壮夫	佐藤武夫像	1972	ブロンズ
11	木内 克	牧神の午後 B	1949頃	ブロンズ
12	掛井 五郎	生物－午前 6 時	1987	エッチング
13	掛井 五郎	生物－午前 9 時	1987	エッチング
14	掛井 五郎	途中の道	1986	エッチング
15	掛井 五郎	七つの顔 緑色	1991	エッチング
16	木内 克	猫	不詳	リトグラフ
17	木内 克	猫	1960頃	ブロンズ
18	山内 壮夫	母子像（半具象）	1954	紙, 水彩
19	山内 壮夫	女性の顔	1946	紙, 水彩, ペン
20	山内 壮夫	母子像	1954	紙, パステル
21	舟越 桂	点の中の距離	2003	木(楠)に彩色, 大理石
常設A	砂澤 ビッキ	カムイミンダラ	1977	セン
常設B	砂澤 ビッキ	樹蝶	1977	セン
		樹蛙	1977	セン

7 企画展「アアルトとフィンランドデザイン - 織田コレクションから -」

- 会期 令和 6 年 1 月 13 日（土）～令和 6 年 3 月 21 日（木）
- 開催日数 59 日間
- 観覧者数 1,675 名（一般 1,520 人／高校生以下 102 人／団体 53 人）
- 主催 旭川市教育委員会
- 主管 旭川家具工業協同組合
- 協力 織田憲嗣, 織田コレクション協力会, 東川町

織田コレクションから、2023 年に生誕 125 周年を迎えたフィンランドの巨匠 アルヴァ・アアルトとフィンランドデ

ザインの名作を展示した。

8 企画展「第19回パレットのなかま展」

- 会期 令和6年3月26日（火）～令和6年5月25日（土）
- 開催日数 53日間
- 観覧者数 1,350名（一般1,193人／高校生以下140人／団体17人）
- 主催 旭川市教育研究会図工美術部・上川造形教育研究会・中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

旭川市教育研究会図工美術部及び上川造形教育研究会、並びに当館の連携・協力により、地域にゆかりのある教職員及びその退職者が制作した作品を紹介する「パレットのなかま展」を開催した。

教育普及活動

1 こども彫刻教室

（1）「テラコッタでドリームハウスを作ってみよう！」

テラコッタを使い、建物をモチーフとしたシェードランプを作った。

- 開催日 令和5年7月22日（土）、7月23日（日）午前9時30分～正午
- 参加者数 22日：15名（こども10名、保護者5名）
23日：21名（こども14名、保護者7名）
- 会場 彫刻美術館研修室
- 講師 堤 生野氏（野焼きオブジェ作家）



こども彫刻教室（1）

（2）「そっくり！ビックリ！どっちが本物？かんたん型取り体験」

石膏と油粘土を使った型取り体験。油粘土とジェスモナイト（水性の造形材料）を使用し、モチーフの型を取り、アクリル絵の具などの耐水性絵の具で着色し、完成させた。

- 開催日 令和5年11月26日（日） 午前9時30分～正午
- 参加者数 25名（こども14名、保護者11名）
- 会場 彫刻美術館研修室
- 講師 椎名 澄子氏（彫刻家）



こども彫刻教室（2）

2 彫刻教室「キーホルダー制作で簡単鋳造体験」

鑄造によるキーホルダーづくり。型となるゴム板に好きな形を描きカッターで切り取った後、ゴム板をベニヤ板で挟み、湯口から溶かした錫合金を流し込む。冷え固まったら金ヤスリやサンドペーパーで形を整え、研磨剤で磨き上げ、金具をつけて完成させた。

■開催日 令和5年11月23日（木・祝） 午前10時～午後3時

参加者数 15名

■会場 彫刻美術館研修室

■講師 椎名 澄子氏（彫刻家）



彫刻教室

彫刻巡回展示事業

当館が収蔵する彫刻作品を、より多くの児童生徒及び保護者や地域の方々が身近なところで鑑賞する機会を提供し、彫刻への理解を深め、「彫刻のまち旭川」を広く知ってもらうことを目的として、平成14年度から本事業を毎年実施している。

なお、平成22年度からは市内小中学校に加え、特別支援学校も対象として募集している。

また、彫刻巡回展示実施校を対象に、旭川地域連携アートプロジェクトによる事業の一環として、当館職員等が出向いて彫刻巡回展示の作品を利用した「出前授業」を平成21年度から実施している。

※旭川地域連携アートプロジェクト……北海道教育大学旭川校造形教育研究室の呼びかけにより平成21年2月に発足。

旭川市教育研究会図工・美術部の教員・北海道立旭川美術館（彫刻巡回展示事業には不参加）・旭川市彫刻美術館の4者が連携し、美術館を中心とした鑑賞教育の実践や教育普及活動に広く取り組んでいる。

■展示実施校 市内小中学校（4校×5期＝20校 総児童生徒数 3,752人）

■展示期間 第Ⅰ期 令和5年6月29日（木）～令和5年7月27日（木）

第Ⅱ期 令和5年7月27日（木）～令和5年8月17日（木）

市有施設期 令和5年8月17日（木）～令和5年9月14日（木）

第Ⅲ期 令和5年9月14日（木）～令和5年10月12日（木）

第Ⅳ期 令和5年10月12日（木）～令和5年11月9日（木）

第Ⅴ期 令和5年11月9日（木）～令和5年12月7日（木）

■市有施設展示 学校の夏季休暇期間には、毎年市有施設等に作品を展示し、より広く市民への鑑賞の場にした。



東町小学校



東光公民館



東明中学校

■展示作品と展示実施校

グループ	作者名・作品名	第Ⅰ期 6/29(木)～7/27日(木)	市有施設期 7/27(木)～8/17(木)	第Ⅱ期 8/17(木)～9/14(木)	第Ⅲ期 9/14(木)～10/12(木)	第Ⅳ期 10/12(木)～11/9(木)	第Ⅴ期 11/9(木)～12/7(木)
第Ⅰグループ 「木内克のどうぶつ展」 5点	木内 克<犬> 木内 克<猫> 木内 克<鷺> 木内 克<アマゾーヌ> 木内 克<鳩と桐> 計5点	東陽中学校	永山支所	日章小学校	東明中学校	広陵中学校	北鎮小学校
第Ⅱグループ 「山内壮夫の世界展 ～具象から抽象へ～」 6点	山内壮夫<踊り子> 山内壮夫<婦人立像(着衣)> 山内壮夫<ソフミの微笑> 山内壮夫<親子像> 山内壮夫<牧神> 計6点	東五条小学校	東鷹栖公民館	青雲小学校	旭川盲学校	江丹別小中学校	富沢小学校
第Ⅲグループ 「旭川と彫刻家展 ～具象と抽象へ～」 4点	加藤顕清<馬> 木内 克<人魚> 山内壮夫<鶴の舞> 飯津邦夫<星と月と> 計4点	東町小学校	東光公民館	近文第二小学校	神居中学校	中央中学校	嵐山小中学校
第Ⅳグループ 「ひと・かたち・へいろ展」 6点	木内 克<母子像> 木内 克<うなだれた裸婦> 藤田 亮<青年立像> 藤川巖三<坐像11> 藤川巖三<立像5> 藤川巖三<冬> 計6点	新町小学校	中央公民館	朝日小学校	大有小学校	旭川中学校	緑が丘小学校

■出前授業実施校

出前授業実施校				
実施日	実施校		対象	参加人数
7月5日(水)	東陽中学校		第1学年	111人
7月6日(木)	東町小学校		第3学年	33人
7月11日(火)	東五条小学校		第5学年	33人
7月12日(水)	新町小学校		第1、2学年	27人
8月30日(水)	朝日小学校		第5学年	25人
9月8日(金)	青雲小学校		第3、4学年	34人
9月21日(木)	神居中学校		第1、2学年	92人
10月5日(木)	大有小学校		第4学年	36人
10月13日(金)	旭川中学校		美術部	22人
10月26日(木)	江丹別小中学校		小学第5学年、中学第1、3学年	4人
11月14日(火)	嵐山中学校		中学第2、3学年	2人
11月16日(木)	緑が丘小学校		第5学年	37人
11月22日(水)	富沢小学校		第1～6学年	27人
11月29日(木)	北鎮小学校		第5学年	37人

中原悌二郎賞関係事業

本市では、1970（昭和 45）年に中原悌二郎賞を創設し、優れた作品を発表した彫刻家に賞を贈り、受賞作品（または代替作品）を収蔵してきた。平成 15 年度からは隔年で実施するビエンナーレ方式となっており、また、平成 21 年度からは中原悌二郎賞優秀賞を廃して中原悌二郎賞のみの選考となっている。令和 5 年度は第 43 回中原悌二郎賞受賞作品の選考を行い、受賞者を招いて贈呈式及び記念講演等を実施した。

1 中原悌二郎賞選考委員会

- 開催日 令和5年6月24日(土)
- 会場 プレミアホテル CABIN 旭川
- 選考委員 選考委員長 酒井 忠康氏(美術評論家, 世田谷美術館長)
- 選考委員 青木 野枝氏(彫刻家, 第40回中原悌二郎賞受賞者)
- 植松 奎二氏(彫刻家, 第38回中原悌二郎賞受賞者)
- 佐藤 友哉氏(美術評論家)
- 建畠 哲氏(美術評論家, 埼玉県立近代美術館長)



撮影：若林勇人 受賞作品



選考委員会

- 受賞作品 第43回中原悌二郎賞 中谷ミチコ<デコボコの舟>

2 中原悌二郎賞贈呈式／記念講演

- 開催日 令和5年10月14日(土)
- 会場 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場
- 主催 旭川市, 旭川市教育委員会
- 参加者 62人



贈呈式

(1) 第43回中原悌二郎賞贈呈式

- 開催時間 午後3時～午後3時30分



記念講演会

(2) 記念講演「ここにあること 彫刻」

- 開催時間 午後3時40分～午後5時
- 講演者 青木 野枝氏(彫刻家)
- 中谷 ミチコ氏(第43回中原悌二郎賞受賞者)

(3) 第43回中原悌二郎賞受賞者によるギャラリートーク

- 開催日 令和5年10月15日(日)
- 会場 旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー
- ギャラリートーク 中谷ミチコ氏(第43回中原悌二郎賞受賞者)
- 参加者 29人

旭川彫刻フェスタ

平成12年度に彫刻にもっと親しんでもらおうと、市内の各界の代表からなる旭川彫刻フェスタ実行委員会が組織さ

れ、「旭川彫刻フェスタ」を開催している。本市は、本事業が彫刻のまちづくりを推進していく上で極めて意義のあるものと捉え、負担金を支出している。令和 5 年度は、令和 4 年度に開催した旭川彫刻フェスタ 20 周年記念展の展示作品等を掲載した記録誌（図録）を作成した。

野外彫刻維持管理事業

旭川市が所有する野外彫刻は平成 13 年度から当館が一括管理しており、補修や写真資料作成等の維持管理に当たっている。また、野外彫刻を良好な状態で維持管理することを目的として平成 14 年 7 月に発足した、清掃活動や周辺環境整備などを行うボランティアの会「旭川彫刻サポート隊」の事務局を当館が担当している。

1 彫刻清掃ボランティアの会「旭川彫刻サポート隊」

- 募集方法 令和 3 年度からの継続参加者に加え、市民広報誌上で新規参加者を募集した。
- 総会 令和 5 年 5 月 20 日（土）
- 対象作品 市所有の野外彫刻 74 点（旭川市彫刻美術館前庭展示作品を含む）
- 会員数 94 人（令和 6 年 3 月 31 日現在）

2 その他の野外彫刻清掃

- 旭川市立中央中学校 旭川市立中央中学校 1 学年の「総合的な学習時間」の一環として、買物公園や常磐公園にある野外彫刻の清掃活動を行った。
- 実施日 令和 5 年 6 月 30 日（金）
- 参加者数 生徒数約 120 名・教員若干名・彫刻美術館 3 名
- 清掃作品 市中心部設置作品 24 点

その他の事業

1 文化の日イベント 施設無料開放日

文化の日のイベントとして、施設の無料開放を行った。

印刷物の発行

印刷物名	判型	発行部数	発行年月
旭川野外彫刻たんさくマップ	A2 判変形両面 2c	2,000	R6.3
第 43 回中原悌二郎賞記念図録	A4 変形 12 頁	450	R5.10

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会は、旭川市彫刻美術館条例によって設置を定められており、10人の委員によって構成されている。令和5年度は会議を開催し、当館運営について必要な事項の協議のほか、貴重な意見が数多く提起された。

■委員名簿（任期：令和4年6月1日～令和6年5月31日）

会長	南部 正人	副会長	藤井 忠行		
委員	石塚 睦	西村 徳清	梶浦 仁（R5.6.2 退任）	野上 義秀（R5.7.28～R6.5.31）	
	山下 真実	村田 典子	弦間 信	間藤 洋子	水田 恵學

■開催状況

開催日 令和5年8月23日（水）

- 内容
- 1 令和4年度事業報告について
 - 2 令和5年度事業計画（案）について

管理作品

当館では、中原悌二郎の現存する全12作品をはじめ、中原に大きな影響を与えたロダンや萩原守衛、中原の友人であった石井鶴三や堀進二ら近代彫刻の作品、歴代の中原悌二郎賞受賞作家の作品、北海道と旭川にゆかりの深い加藤顕清、山内壮夫らの作品について、彫刻及び平面作品を収蔵している。これらの収蔵作品は、近代から現代へと至る日本彫刻界の変遷を通観できる充実したものとなっている。

■管理作品内訳（令和6年3月31日現在）

管理作品総数 1,305 点

- 1 収蔵作品 1,233 点
 - （1） 彫刻作品 330 点
 - ア 中原悌二郎作品 12 点
 - イ 中原悌二郎賞受賞作品 81 点
 - ウ 木内克作品 78 点
 - エ 加藤顕清作品 18 点
 - オ 山内壮夫作品 27 点
 - カ 藤川叢三作品 36 点
 - キ その他の作品 78 点
 - （2） 素描・版画等平面作品 903 点
- 2 野外彫刻作品 72 点

1 令和5年度新管理作品

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法（高×幅×奥行cm）	備考
1	中谷 ミチコ	Boat	2015	硬質石膏	42×110×32	購入
2	中谷 ミチコ	私の中の卵	2022	紙, 水彩, 色鉛筆	30×39.1×2.3	寄贈
3	中谷 ミチコ	泣く女	2022	紙, 水彩, 色鉛筆	30×39.1×2.3	寄贈
4	関 秋宏	北の娘（学生）	1997	FRP		寄贈
5	関 秋宏	北の娘	1982	石膏		寄贈
6	関 秋宏	北の青年	2010	FRP		寄贈
7	関 秋宏	響子の憩い	2001	FRP		寄贈



1



4



5



6



7

2 貸出し作品等

（１）展覧会等への貸出し

展覧会名	貸出し先	作者名	作品名	貸出し期間
「縄文≡現代～共鳴する美のかたち」展 会期 R5.7.15～R5.9.3	苫小牧市美術博物館 （苫小牧市末広町3丁目9番7号）	掛井 五郎 今村 源 木内 克	パンザイ・ヒル 2008-10 ダイブIV たまゆら	R5.6.30～R5.9.30

（２）公共施設等における展示

（彫刻巡回展示事業での展示については p.17 に掲載）

展示施設	展示場所	作者名	作品名	展示期間
旭川市民文化会館	ロビー	木内 克	母子像	R5.4.1～R6.3.31
旭川市大雪クリスタルホール	1階ロビー	佐藤 忠良	帽子・立像	R5.4.1～R6.3.31
		井上 武吉	my sky hole 91-6-2	R5.4.1～R6.3.31
		山内 壮夫	鶴の舞	R5.4.1～R6.3.31
		森川 亮輔	空域 No.2	R5.4.1～R6.3.31
		木内 克	エーゲ海に捧ぐ	R5.4.1～R6.3.31
永山市民交流センター	ロビー	井田 勝己	月に向かって進め	R5.4.1～R6.3.31
旭川市東旭川公民館（本館）	1階ロビー	木内 克	母子像	R5.4.1～R6.3.31
旭川市中央図書館	2階ロビー	木内 克	人魚	R5.4.1～R6.3.31

		山内 壮夫	うずくまる	R5.4.1～R6.3.31
	1 階ロビー	田村 審火	舞踏構想 S	R5.4.1～R6.3.31
JR 旭川駅	北側通路	江口 週	繋がれたアーチ	R5.4.1～R6.3.31
		若林 奮	DaisyⅢ-2	R5.4.1～R6.3.31
	西コンコース	安田 侃	天秘	R5.4.1～R6.3.31
	東口	神田比呂子	Le Lac	R5.4.1～R6.3.31
旭川市総合庁舎	2 階秘書課応接室	加藤 顕清	女の首	R5.4.1～R6.3.31
		加藤 顕清	ペステム	R5.4.1～R6.3.31
		佐藤 忠良	三浦綾子	R5.4.1～R6.3.31
	2 階秘書課応接室前	木内 克	水盤	R5.4.1～R6.3.31

ボランティアの会「みゅうず」

ボランティアの会「みゅうず」は、彫刻美術館の運営を支援する目的で平成 6 年 6 月、当館のオープンに合わせて美術好きの市民らによって創設された。現在は 40 人程度の会員を擁し、館内ラウンジに喫茶・物販コーナーを設置している。また、美術館の鑑賞研修などに取り組んでいるほか、当館の事業にも積極的に参加している。

「みゅうず」が運営する喫茶コーナーは来館者の憩いの場となっており、コーヒー、紅茶などをメニューとして美味しくて安いと好評を得ている。

また、ミュージアム・グッズとして、中原悌二郎関係の書籍、当館収蔵作家の作品集、オリジナルの絵葉書などのほか、木内克や加藤昭男制作のペンダント、佐藤忠良制作のブローチ、池田宗弘制作の栓抜きなどを販売している。

観覧者数

1 彫刻美術館年度別観覧者数の推移

(単位：人)

	一 般	高校生	中学生以下	70 歳以上市民	免 除	年度計
平成 6 年度	18,432	336	2,986		3,956	25,710
平成 7 年度	13,065	139	2,735		3,952	19,891
平成 8 年度	13,970	285	3,063		3,346	20,664
平成 9 年度	14,075	207	2,422		2,864	19,568
平成 10 年度	18,495	692	2,107			21,294
平成 11 年度	16,817	176	2,238			19,231
平成 12 年度	15,915	298	2,163			18,376
平成 13 年度	15,375	160	2,284			17,819
平成 14 年度	15,014	178	1,910			17,102

平成 15 年度	16,210	333	1,611			18,154
平成 16 年度	10,886	346	1,808			13,040
平成 17 年度	10,944	96	1,608			12,648
平成 18 年度	4,937	90	1,408		2,195	8,630
平成 19 年度	5,065	67	1,794		2,894	9,820
平成 20 年度	4,653	39	1,273		2,289	8,254
平成 21 年度	3,825	29	1,336		2,000	7,190
平成 22 年度	4,048	62	1,559		1,856	7,525
平成 23 年度	4,316	93	1,584		2,018	8,011
平成 29 年度	1,135	11	116		3,276	4,538
平成 30 年度	3,028	21	247		1,700	4,996
令和元年度	2,535	21	391		1,281	4,228
令和 2 年度	1,456	20	387		501	2,364
令和 3 年度	1,284	29	465	63	517	2,358
令和 4 年度	2,354	31	716	112	887	4,100
令和 5 年度	2,680	35	476	117	679	3,987

※平成 6 年 6 月 1 日開館 ※平成 10 年度～平成 17 年度は観覧料無料化のため、免除規定を廃止

※平成 24 年 2 月 1 日から長期休館 ※平成 29 年 10 月 8 日より再開館

※令和 2 年 4 月 21 日～令和 2 年 5 月 25 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※令和 3 年 5 月 17 日～令和 3 年 6 月 20 日、令和 3 年 8 月 20 日～令和 3 年 9 月 30 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

2 彫刻美術館ステーションギャラリー一年度別観覧者数の推移

(単位：人)

	一 般	高校生以下	団 体	年度計
平成 24 年度	15,407	1,538	1,069	18,014
平成 25 年度	8,572	823	843	10,238
平成 26 年度	8,841	788	1,339	10,968
平成 27 年度	7,383	701	707	8,791
平成 28 年度	6,341	511	702	7,554
平成 29 年度	11,781	795	984	13,560
平成 30 年度	9,881	643	385	10,909
令和元年度	7,840	533	452	8,825
令和 2 年度	5,945	494	144	6,583
令和 3 年度	3,725	338	68	4,131

令和4年度	6,771	490	137	7,398
令和5年度	8,279	669	299	9,247

※平成24年4月21日開館

※令和2年4月21日～令和2年5月25日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※令和3年5月17日～令和3年6月20日、令和3年8月20日～令和3年9月30日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

3 令和5年度 彫刻美術館月別観覧者数

(単位：人)

	一 般	高 校	中学生以下	70 歳以上市民	免 除	月 計	累 計
4 月	194	3	23	9	21	250	250
5 月	307	4	97	8	37	453	703
6 月	289	2	14	14	82	401	1,104
7 月	294	5	65	15	61	440	1,544
8 月	372	3	19	12	59	465	2,009
9 月	311	5	32	13	22	383	2,392
10 月	212	1	50	19	47	329	2,721
11 月	177	0	33	7	230	447	3,168
12 月	96	4	18	0	34	152	3,320
1 月	99	4	12	6	8	129	3,449
2 月	178	1	98	7	43	327	3,776
3 月	151	3	15	7	35	211	3,987
合 計	2,680	35	476	117	679	3,987	3,987

4 令和5年度 彫刻美術館ステーションギャラリー月別観覧者数

(単位：人)

	一 般	高校生以下	団 体	月 計	累 計
4 月	495	25	0	520	520
5 月	802	55	6	863	1,383
6 月	1,086	53	74	1,213	2,596
7 月	863	60	29	952	3,548
8 月	944	126	0	1,070	4,618
9 月	909	103	77	1,089	5,707
10 月	598	29	28	655	6,362
11 月	490	32	25	547	6,909
12 月	337	47	7	391	7,300
1 月	455	39	0	494	7,794
2 月	682	33	53	768	8,562
3 月	618	67	0	685	9,247
合 計	8,279	669	299	9,247	9,247

【職員名簿】

彫刻美術館長	北嶋 迪子							
職員	高橋 伸	須藤 知美	朝倉 惇也					
会計年度任用職員	長島 由香里	石川 知佳	安藤 春香	井田 千賀	梅村 由佳			
	関口 佳苗	木戸 美千代	信木 恵子	前田 洋美	東 ちぐさ			
	二階堂 智美	古田 佐登美	木戸 美千代	佐藤 まち子				
	中山 富美代	福井 志津子	藤田 則子					

ステーションギャラリー

会計年度任用職員	三浦 美津子	渡邊 大輔	清水 由香里	徳重 弘美	松村 有希子	
	岩本 優子	須田 益枝	八重樫 晶子	渡邊 昇		

令和 5（2023）年度

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館年報

令和 7（2025）年 2 月 14 日発行

編集・発行 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

〒070-0875 旭川市春光 5 条 7 丁目

TEL 0166-46-6277 FAX 0166-46-6288
